

令和6年度 事業報告書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

1. 法人の概要

主たる法人の所在地 太田市藤阿久町83番地3	電話番号 0276-32-1461	代表者氏名 理事長 金 田 克 次
法人認可年月日 昭和44年8月28日	法人認可番号 厚生省 第527号	法人登記年月日 昭和44年9月13日

2. 法人の行う事業

事業の種類	施設種別	名 称	定員
社 会 福 祉 事 業	第1種	障害者支援施設 (施設入所支援事業)	57
		(生活介護事業)	60
	第2種	かなやま学園	70
		ひまわり学園	30
		地域生活援助センターかなやま青年寮	41
		(わが家)	(10)
		(もみじ)	(5)
		(ふじあぐホーム)	(6)
		(細谷ホーム)	(5)
		(ひじりがわホーム)	(4)
		(大木荘)	(4)
		(かめおかホーム)	(7)
		地域生活援助センターはあふ	44
		(みなみホーム)	(4)
		(うしざわホーム)	(5)
		(さくらハイツ)	(7)
		(新島ハイツ)	(9)
		(西新町ハイツ)	(7)
		(ゆらハイツ)	(7)
		(むーぶ)	(5)
		知的障害者短期入所事業(併設型)	とうもうさわの寮 3
		移動支援事業	ねこのてや
		生活介護事業・放課後等デイサービス事業 ・児童発達支援事業	ぽかぽか 5
		一般相談支援事業・特定相談支援事業 障害児相談支援事業・特定相談支援事業	太田松翠会相談支援事業所 あおぞら

公益事業	サービスステーション事業	ねこのてや	6
	日中一時支援事業	とうもうさわの寮	3
	福祉有償運送事業	はあふ、ねこのてや	

3. 役員等の状況

役員等	定員	現員
理事	6～7名	6名
監事	2名	2名
評議員	8～10名	9名

4. 法令遵守の体制

法令遵守責任者 総合施設長 小川 和男

5. 統括会計責任者、会計責任者及び出納職員

統括会計責任者 総合施設長 小川 和男

拠点区分名	会計責任者	出納職員
本部	谷口 友和	小沢 愛加
かなやま学園	小川 和男	堀越 志保美
ひまわり学園	茂木 普照	中嶋 好子
とうもうさわの寮	高橋 正俊	齋藤 尚美
相談支援事業所	高橋 正俊	齋藤 尚美
かなやま青年寮	齋藤 清貴	丸山 美由紀
ねこのてや	谷口 友和	小沢 愛加

6. 決算の状況

〔本部拠点区分〕

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計
3,021,143円	2,950,236円	70,907円

※1 総収入済額のうち

拠点区分間繰入金収入（かなやま学園、ひまわり学園、とうもうさわの寮、かなやま青年寮より） 2,820,000円

※2 総支出済額のうち

拠点区分間繰入金支出（とうもうさわの寮へ）

48,840円

※3 積立資産の状況

施設・設備整備積立資産支出

200,000円

事業活動収支の状況

事業活動収入額	事業活動支出額	事業活動収支差額
201,143円	2,701,396円	△2,500,253円

〔法人全体〕

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計
847,838,868円	835,691,521円	12,147,347円

※1 積立資産の状況	273,192,588円
（人件費積立資産	78,103,536円）
（修繕費積立資産	44,850,000円）
（備品等購入積立資産	20,086,681円）
（移行時特別積立資産	741,471円）
（施設・設備整備積立資産	129,410,900円）

※2 当期末支払資金残高（繰越金） 251,165,671円

事業活動収支の状況

事業活動収入額	事業活動支出額	事業活動収支差額
832,433,860円	795,037,871円	37,395,989円

7. 加入している損害保険等

- 業務災害総合保険ハイパー任意労災（A I U保険）
- 会社役員賠償責任保険（あいおいニッセイ同和損害保険）

8. 法人主催の研修の状況

◎入職者新人職員等研修

令和7年3月25日（火）

〔新任職員として働くための基本テキストに沿って、これから必要なこと〕

社会人としての心得、報告・連絡・相談、虐待防止、ハラスメントについて等 3名参加

◎新任職員等研修

令和6年11月18日（月）

〔施設の現状から今後新人職員に望むこと〕

社会人としての意識付け、ストレスマネジメント 6名参加

◎中堅職員等研修

令和6年12月11日（水）

〔法人の現状から今後中堅職員に望むこと〕

リーダーシップ、フォローシップ、法人の施設及び事業所について、

「生産性向上のための業務改善マニュアル」より法人の理念等 5名参加

9. 委員会活動の状況

◎虐待防止委員会

令和6年11月20日（水）

〔福祉現場のアンガーマネジメント研修 講師 藤井友和氏〕

令和7年 3月14日（木）

〔今年度の振り返り、施設での取り組みや整備の確認・報告、虐待に関するワーク〕

◎リスクマネジメント委員会

令和7年 2月19日（水）

〔今年度の報告・課題について、法人定義の確認、情報交換等〕

10. 求人活動等の状況

- ◎マイナビ、職員紹介会社、ハローワークや福祉人材バンクへの登録、学校訪問

令和 6 年度 事業報告書

事業所名 指定生活介護事業所 かなやま学園 定員 70 名（現員 70 名）

1. 決算の状況

サービス区分名	総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計	備考
かなやま学園	177,654,264 円	174,734,683 円	2,919,581 円	
移動支援	0 円	0 円	0 円	

※総収入済額のうち

人件費積立資産取崩収入	3,380,000 円
備品等購入積立資産取崩収入	775,500 円

※総支出済額のうち

拠点区分間繰入金支出	705,000 円
人件費積立資産支出	5,057,000 円
備品等購入積立資産支出	4,200,000 円
施設・設備整備積立資産支出	2,400,000 円

事業活動資金収支

サービス区分名	事業活動収入	事業活動支出	事業活動収支差額合計	備考
かなやま学園	173,419,513 円	160,837,103 円	12,582,410 円	

2. 主な修繕の実施状況

内 容	期 日	金 額
請負作業棟外壁破損部修理	令和 7 年 1 月 31 日	35,000 円
食堂 木工テーブルウレタン塗装修繕	令和 7 年 2 月 28 日	107,000 円
新棟入口ドア破損ガラス修理代	令和 7 年 3 月 31 日	104,000 円

3. 固定資産物品等の購入状況

物 品 名	取得年月日	金 額
請負作業棟エアコン取付け	令和 6 年 7 月 31 日	165,000 円
第 2 作業棟 身障トイレ便器交換	令和 6 年 8 月 31 日	154,000 円
福祉の森 パソコンメモリー 2 台導入	令和 7 年 3 月 31 日	220,000 円
福祉の森 ソフトウェア導入	令和 7 年 3 月 31 日	236,500 円

4. 車輛の保有状況

車 種	台 数	備 考
マイクロバス	3 台	1 台 (リース) 送迎利用 : 3 台
普通乗用車・ワゴン車	4 台	3 台 (リース) 送迎利用 : 3 台
軽自動車	2 台	事務用、作業用 : 各 1 台

5. 損害保険の加入状況

内 容	取引先
自動車保険	あいおいニッセイ同和損保 おかべ保険センター
介護保険・社会福祉事業者総合保険	〃
火災保険	損害保険ジャパン日本興亜(株) スバルファイナンス 太田市農業協同組合

6. 職員の状況〔29 名〕

職 種	人員基準数	現員数	常勤換算	備 考
管理者 (施設長)	1	1	1	
サービス管理責任者	2	2	2	
生活支援員	17	18		パート職員(2)、フルタイム(2)
事務員		3	2	
看護師	1	1	1	
栄養士		2	2	管理栄養士(2)
調理員		2		

7. 利用者の状況

・定員数 : 70 名

区 分	延べ利用者数	営業日数	平均利用者数	月始登録人数
令和 6 年 4 月	1,476 名	22 日	68 名	75 名
5 月	1,464 名	22 日	67 名	73 名
6 月	1,339 名	20 日	67 名	72 名
7 月	1,513 名	23 日	66 名	72 名
8 月	1,197 名	19 日	63 名	72 名
9 月	1,297 名	21 日	62 名	72 名
10 月	1,444 名	23 日	63 名	72 名
11 月	1,345 名	21 日	65 名	72 名
12 月	1,282 名	20 日	65 名	72 名
令和 7 年 1 月	1,252 名	20 日	63 名	71 名
2 月	1,170 名	19 日	62 名	70 名
3 月	1,267 名	21 日	61 名	70 名
合 計	16,046 名	251 日	-	-
月平均	1,337 名	-	64.3 名	71.9 名

＊介護保険サービスの事業所を併用利用（6名）全てグループホーム利用者
（学園利用は週1日から3日）今後も併用から移行のケースもあり得る。

・障害支援区分

支援区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男 性	0	0名	14名	21名	11名	46名
女 性	0	2名	11名	5名	6名	24名
計	0	2名	25名	26名	17名	70名

※平均支援区：4.82

8. 施設運営等実施状況

①施設運営

・利用者状況について

19歳から74歳までの方が利用中。[全体平均年齢40.7歳]

男性：46名（平均年齢38.6歳） 女性：24名（平均年齢42.7歳）

・入退所関係

入 所	高等特別支援学校卒業（太田 2・渡良瀬 1）	3名
		名
		名
退 所	入所施設移行（とうもうさわの寮）	4名
	介護保険事業所	2名
		名

・職員体制について

＊退職者 1名 正規職員（膝の手術のため）

＊入職者 2名 ① 常勤的非常勤：退職者代替（生活支援員）

② 非常勤：産休代替（調理スタッフ）

・苦情解決について

令和6年度：苦情 1件

送迎職員が利用者をヘルパーに引き渡した後に車両の前方で転倒する。運転の職員が見ていたにもかかわらず声かけせずに行ってしまった。配慮が足りない。さらに降車位置にも問題があると次から次へとクレームがあがる。

（第三者委員に相談、仲介をしていただく）

・危機管理について

「事故等の報告」

分類 性別	転倒		加害行為		誤嚥		破損・紛失		投棄ミス		連絡・確認		全体	
	利	・	利	・	利	・	利	職	・	職	・	職	利	職
男 性	2		3		0		0	0		1		3	5	4
女 性	3		3		0		0	1		2		1	6	4
合 計	5		6		0		0	1		3		4	11	8

「ヒヤリハットの報告」

分類 性別	転 倒		加害行為		誤嚥		破損紛失		無断外出		その他		全体	
	利	・	利	・	利	・	利	職	利	・	利	・	利	・
男 性	2		3		0		0	0	0		0		5	
女 性	0		0		0		0	1	0		0		1	
合 計	2		3		0		0	1	0		0		6	

※「…する恐れがある」その前に予測し止めることができた。

②利用者支援

・ 日中活動等

※6つの作業室を編成し生活介護事業に基づいた活動を提供

作業室名	利用者数	職員数	主な活動内容
第1作業室	14名	3名	活 動（パズル、ビーズ、ウォーキング等）
第2作業室	14名	3名	自主生産（手作り石鹸） ・活 動 資源回収（新聞、ダンボール、アルミ缶等）
第3作業室	10名	3名	活 動（創作、レク、ストレッチ、ウォーキング 教材、音楽、ドライブ等）
新棟作業室	12名	3名	自主生産（反物作り、織製品作り等） 活 動 （リハビリ体操、足湯、創作、音楽等）
クッキー作業室	9名	2名	自主生産（クッキー作り） 活 動 （ウォーキング・レクの活動等）
請負作業室	11名	3名	請負作業（マキタ→内職市場に変更） 委託作業（太田市：お寺のトイレ清掃） その他 （学園の車両の洗車）

※ 待矢場太田広域協定運営委員会：四ヶ村用水路遊歩道清掃業務（請負作業室 → 全体へ移行）

○ 生産活動の収入総額：2,470,760 円

支出総額：1,624,884 円

※収支残額：845,876 円

※店舗販売は通常通りであるが、施設・事業所関係のイベントは依然としてない状況。

今年度は久々に学校関係のイベントに参加（太田特別支援学校：すだち祭）

店舗販売 （常設）	① スワンバーカリー ② ブレイス（スーパーマーケット） ③ 道の駅 おおた ④ 城西の杜 JA 直売所
イベント販売	※近隣施設のお祭り等の開催なし 県及び福祉協会関係の行事等への参加は見合わせ（前橋） ※太田市役所ロビーにて行う「ぐんぐん」は状況を考慮して参加

・作業外活動

① 祝日登園日の活動他

各作業室ごとに企画を考えて実施する。

〔学園内外：創作活動、音楽活動、おやつ作り、外食など〕

② 各種活動

	利用者参加延べ人数	職員参加延べ人数
書道活動（年間 11 回予定）：講師の都合で中止 *講師（今井先生）	0 名	0 名
3B 体操（年間 11 回予定）： 8 回実施 *講師（音村先生）	83 名	14 名
入浴支援（希望者名） *「ねこのてや」の浴室を利用	119 名	56 名

* 参加人数を調整しての実施。

③ プール活動

*クッキー作業室の企画として「群馬ふれあいスポーツセンター」にて活動を実施する。

④ 主な行事

- ・ かなやま祭り（前年は規模を縮小して内部関係者に絞っての開催だったが、今年度は通常の規模に戻して開催する）
- ・ グループ旅行（親子で参加する「親子旅行」を開催する。県内で企画）
- ・ 初詣、花見、外出などは通常通りに実施する。

・健康管理

項 目	回 数(年)	担当医等
身体測定	3 回	身長・体重および血圧測定 (4・8・12 月)
精神科検診	1 回	三枚橋病院〔例年 2 回〕 (7・12 月)
内科検診	2 回	中野医院〔例年 2 回〕 (6・10 月)
歯科検診	1 回	太田新田歯科医師会 (6 月)
血液検査	1 回	中野医院
レントゲン検診	1 回	群馬県健康づくり財団 (10 月)
検 尿	1 回	〃 (10 月)
検 便	1 回	〃 (5 月) (クッキー従事者は年 4 回)
インフルエンザ予防接種	1 回	中野医院〔希望者：利用者および職員〕 (11 月)

*毎月 1 回、保健給食会議を開催し、給食面からも利用者の健康について考える。

*アンケートまたは直接ご家族と相談の上対応。(減塩、油抜き、きざみ食、少食等)

*服薬調査 (年 2 回：4・10 月)

○「新型コロナウイルス」対応状況（令和6年4月～令和7年3月末）

- | | | |
|--------|----------|------------------------|
| ・感染等状況 | ・新型コロナ | 感染 利用者：7名 職員：3名 |
| | ・インフルエンザ | 感染 利用者：3名 職員：3名 |
| | ・不明 | 利用者：3名（発熱あるが家庭での検査未実施） |
- ・継続対応
- ・検温（利登園時・職出勤前、利職日中 2回実施）
 - ・消毒（車両：日中1回 帰りの送迎後）
 - ・マスク（利用者および職員ともに自己責任とする。ただし、感染症が流行っている時は着用要請を実施。インフルエンザ予防等）
 - ・アクリル板 必要に応じて部分的に設置継続（感染症とは別に）
 - ・加湿および空気清浄機器（作業室、食堂）→継続（冬場）
 - ・感染症対応マニュアルの更新
 - ・事業継続計画（BCP）を作成（令和6年度より作成義務化）

・ボランティア関係

- *製品作成等による外部委託（個人）
（反物を利用してバッグやポシェットを作ってくれるボランティア）

・実習生関係

- *大学および短大の実習、特別支援学校および高等特別支援学校の職場実習
東群馬看護専門学校の実習生を受入れ（新規 今後継続予定）
 - ・高等特別支援学校生（太田：5名、渡良瀬：1名、渋川：1名）
 - ・特別支援学校（太田：8名）
 - ・相談支援実習（東京福祉大生：1名、高崎福祉医療カレッジ通信生：1名）
 - ・保育実習（育英短大生：1名）
 - ・東群馬看護専門学校生（週2日 1日あたり2～3名：39人）

・防災関係

- *避難訓練(火災・地震)を定期的を実施
 - 火災避難訓練（7・2月） 避難訓練と同時に放送設備の点検実施
消防署員立ち合いの総合訓練および消火訓練
 - 地震訓練（9月） 効果音を全館放送で流し、建物倒壊の危険を設定し屋外へ避難する。
- *防災備品および備蓄品の確認、整理、購入
 - 定期購入（飲料水、アルファ米、缶詰、レトルト食品）消費期限確認
- *非常用電源装置の起動方法を全員に周知
 - 毎月1回、全職員が交代で起動手順の確認作業を実施
- *防災会議（随時）の実施
- *災害用伝言ダイヤルの練習（職員対象：学園 ⇄ 送迎車両による伝達訓練実施）
- ※ 事業継続計画（BCP）の作成（令和6年度より作成義務化）

・ 防犯関係

＊太田警察生活安全課より講師派遣「防犯講話・実地訓練」を計画

→ 前年度に引き続き中止

＊防犯マニュアルの周知

→ 職員会議にてマニュアルの確認（不審者が来園した時の「合言葉」確認など）

令和6年度 事業報告

施設名 ひまわり学園

施設種別 児童発達支援センター

定員30名

1. 決算の状況

ひまわり学園

(単位:円)

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額	事業活動資金収支差額
103,534,848	103,210,436	324,412	1,555,731

※1 総収入済額のうち

設備資金借入金元金償還補助金収入

1,308,000円

※2 総支出済額のうち

拠点区分間繰入金支出

705,000円

サービス区分間繰入金支出

103,708円

あおぞら(障害児相談支援事業)

(単位:円)

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額	備考
3,338,939	3,338,939	0	

※1 総収入済額のうち

受託事業収入 災害避難計画(太田市事業)

8,400円

きらきら(保育所等訪問支援事業)

(単位:円)

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額	備考
0	0	0	

2. 主な修繕の実施状況 特になし

3. 固定資産物品等の購入状況

	内 容	期 日	金 額
1	園児用テーブル・椅子	令和6年7月4日	306,600円
2	置き去り防止装置	令和7年3月28日	109,780円

4. 車両の保有状況

・マイクロバス 1台 ・普通乗用車 2台 ・軽自動車 2台

5. 損害保険の加入状況

自動車保険（あいおいニッセイ同和損害保険・おかべ保険センター）

火災保険（あいおいニッセイ同和保険・おかべ保険センター）

施設賠償責任保険（介護保険・社会福祉事業総合保険・おかべ保険センター）

6. 職員の状況

職種別	定数	現員	備考
管理者		1	
児童発達支援管理責任者	1	1	
児童指導員 保育士	8	14	パート5
看護師		1	パート
事務員		1	
栄養士・調理師	2	2	パート
運転手		1	パート
清掃員		2	パート
計	11	21	

7. 利用者の状況

	延人数	開催日	平均
4月	446	21	21.2
5月	513	22	23.3
6月	471	20	23.6
7月	438	23	19.0
8月	419	19	22.1
9月	482	20	24.1
10月	555	21	26.4
11月	549	21	26.1
12月	542	21	25.8
1月	494	19	26.0
2月	514	19	27.1
3月	488	20	24.4
計	5,911	246	24.0

8. クラス別療育の取り組み

単独通園4クラス 30名定員 令和7年3月時 31名 在籍

4月 27名でスタート

5月 1名入園 28名になる

6月 1名地域の保育園へ転園のため 27名になる

7月 1名母と帰国することになったため退園 26名になる

8月 1名入園 27名になる

9月 3名入園 30名になる（内1名は初めての1歳児の入園となる）

11月 1名入園 31名になる（1歳児・4月から保育園が決まっているお子さん）

12月 1名入園 32名になる（児相経由・医ケア児ストーマ）

令和7年 2月 1名母と母国に帰国することになったため退園 31名になる

利用児の年齢の状況

5歳児・・・8名 4歳児・・・7名 3歳児・・・4名

2歳児・・・10名 1歳児・・・2名

※年齢の小さいお子さんが年々増える傾向にあり、低い机と低い椅子を購入していただきました

3月末に就学が8名、保育園に3名入園のため11名が卒園した。

9. 親子通園教室（さくらんぼクラブ）

① どれみチーム（未歩行や0歳児）・・・年23回 延べ利用人数61人（登録10名）

② ありんこチーム（2歳児）・・・年20回 延べ利用人数91人（登録12名）

③ どんぐりチーム（1歳児）・・・年20回 延べ利用人数61人（登録14名）

※満3歳でこども園に入園できるため、途中からありんこチームの人数が減ってしまった。
また、どんぐりチームは1歳半健診を終えるごとに登録人数が増えてしまうため、後期はありんこチームとどんぐりチームの半分の人数を一緒に行なった。

※さくらんぼクラブを利用していたお子さんの内5名はR6年度の途中入園につながった

※さくらんぼクラブを利用していたお子さんの内7名はR7年度の入園につながった

10. つぼみの部屋

県より委託されている事業。保育園・幼稚園に通っているお子さんで、発達や集団参加に心配のあるお子さんを対象に行う活動。

※つぼみの部屋を利用していたお子さんの内3名はR7年度のひまわり学園入園につながった

※参加者数実績 33名

11. 大泉町の親子教室（あそびの教室）

1歳6か月健診後のフォローとして、発達が気になるお子さんを保健師と情報を共有し、プログラムを立て、実施。（年12回実施）

12. 交流保育

太田市のこまどり保育園の年長児クラスとの交流保育を年4回行なった。

1回目・・・ひまわり学園にて各クラスに分かれ活動

2回目・・・こまどり保育園から第一公園までお散歩し遊ぶ

3回目・・・こまどり保育園にて室内でリトミック

4回目・・・金山で待ち合わせ、やまのぼり

1 3. 感染症による行事開催の状況

流行性結膜炎（アデノウイルス）や、手足口病、RS ウィルス、ヒトメタニューモなど、風邪症状に似たものが流行したが、行事内容を変更することは無かった。

<主な行事>

6 月 親子遠足（今年度より遠足の時期を6月にした/華蔵寺公園へ）

7 月 年長児お泊り保育（4年ぶりに泊まる）

8 月 夏祭りイベント（今年度より暑さ対策のため、遊戯室内で子どもと職員で行なう）

10 月 運動会（今年度より金曜日に開催。待ち時間の関係で2クラスずつ時間差で開催した）

1 月 ひまわり祭（遊戯室の広さの関係で2クラスずつ時間差で開催）

3 月 お別れイベント（卒園児のみ電車に乗る体験と午後はおやつバイキングを行なった）

1 4. 職員研修

・内部研修

虐待防止及び身体拘束禁止研修

ハラスメント防止研修

安全計画研修

BCP（災害・感染症）研修・訓練

感染症予防研修

太田記念病院 小児科医堀 Dr による勉強会

保育士全員による療育についての研究発表・勉強会

・外部研修

虐待防止研修（集合）

児童生活支援部会3回（集合）

事務部会（リモート）

給食部会（リモート）

1 5. 苦情解決

- ・ 7 件ありました（職員の接遇に対して6件・サービスの内容について1件）

- ・ 虐待関連：保護者さんが目の前にいてもバスから降りようとしなかったのも、声かけをした上で、身体を持ち上げたところ、無理やり引っ張って降ろしたように見えたも、ひまわり学園に苦情の電話をしたのち、全国虐待ネットワークに保護者さんが連絡をしたため、そのお子さんの住まいである足利市より聞き取り調査が行われた。調査の結果、虐待とはみなされませんでした（別紙あり）。

16. 危機管理

・事故報告

転倒	加害行為	転落	連絡確認 ミス	その他	計
13	11	3	6	13	46

・インシデント

加害行為	物を投げる	その他	計
0	1	1	2

17. 実績数

■療育実績数

内容	回数（年）	備考
運動プログラム	各クラス月3回	遊戯室を使用。クラス内でのミニ活動で行なう。
制作	各クラス月2回	
音楽活動	各クラス月3回	
山登り	各クラス週1回	歩行自立児対象。毎週金曜日実施
キッズビクス	全体月1回	全園児対象（3グループ制。ダンス講師に依頼）
園外活動	各クラス随時	公園、買い物、フードコートへの外食
散歩	各クラス随時	
感覚遊び	各クラス随時	
料理	各クラス随時	
音楽療法	こあら組、くま組 月2回	音楽療法士に依頼
アヒルクラブ	各クラス月1回	言語発達を促す課題
ミニ活動	各クラス毎日（午後）	
親子プログラム	1人につき年3回	全園児に対し年3回、担任が行なう
交流保育	年4回	

■家庭支援実績

内容	回 数 (年)	備考	
家庭訪問	1	6月に実施	新入園児対象
療育参加	3	各クラスで計画(8月2月)山登り	
個別面談	2	(新入園児5月) 9月・3月	
療育説明会	1	4月(新入園児保護者対象)	ひまわり学園職員
就学説明会	1	9月 就学の流れについて	太田市教育委員会指導主事
保護者学習会	1	11月「摂食について」	山川 治先生 (歯学博士)
学校見学	随時	教育委員会を通して随時行なう 太特・・・6月・9月 学校公開日	
幼稚園・保育園 移行に向けて	随時	サポートシートの作成 保育園に出向き、引継ぎ 幼稚園や保育園の先生が来園し、 引継ぎ	担任・児発管

令和6年度 事業報告

施設名 ぽかぽか

施設種別 多機能事業所

定員 5名

1. 決算の状況

ぽかぽか（生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス）（単位：円）

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額	事業活動資金収支差額
25,676,909	25,521,885	155,024	281,146

※1 総収入済額のうち

イエローレシート分配金 52,600円

2. 主な修繕の実施状況 特になし

3. 固定資産物品等の購入状況 特になし

4. 車両の保有状況 普通乗用車（リフト付き） 2台

5. 損害保険の加入状況

自動車保険（あいおいニッセイ同和損害保険・おかべ保険センター）

火災保険（あいおいニッセイ同和保険・おかべ保険センター）

施設賠償責任保険（介護保険・社会福祉事業総合保険・おかべ保険センター）

6. 職員の状況

職種別	定数	現員	備考
管理者		1	
サービス管理 責任者	1	1	
児童指導員兼 生活支援員	1	2	
看護師	1	1	
運転手		1	パート
理学療法士		1	委託
医師		1	委託
計	3	8	

7. 利用者の状況

	延人数	開催日	平均
4月	112	22	5.09
5月	106	21	5.05
6月	110	20	5.50
7月	116	23	5.04
8月	111	19	5.84
9月	109	20	5.45
10月	115	23	5.00
11月	120	21	5.71
12月	112	21	5.33
1月	86	19	4.53
2月	84	20	4.20
3月	91	22	4.14
計	1272	251	5.068

8. 支援実施状況

ア) 日中活動

令和6年度の1番は、EPSON ゆめ水族館です（EPSON よりプロジェクター2台、動画・音楽を借用し空間を水族館のような環境にする企画）。2月6日から26日までの3週間ほど遊戯室にて上映を行う。大きな画面に沢山の魚が泳ぐ姿は感動的でした。利用者様の様子は、癒されて情緒も安定して心落ち着いている様子でした。又画像に映る生き物に対して良く見て目で追う様子も見られ、いつもと違う表情が見られました。

1年を通しての活動は、個別支援内容に重点を置き個人に合わせた活動を多く取り入れました。朝の会の時間にマッサージを取り入れ1日の始まりを伝えています。集団活動でカラオケBOXへ行きました。季節行事を楽しみ、五感にアプローチ出来る活動をしました。

ボランティアは、オカリナボラ月2回 体操ボラ月1回 ピアノボラ月1回 ちいさなはしボラ2ヶ月1回 ハーモニカボラ月1回 お母さん人形劇年1回 ラーマンボラ年2回 ボランティアさんに来て頂く事で、地域とのふれあい活動も出来ていました。

スポレク祭にも参加する事が出来、ぽかぽかのPRとバザー品の販売をしました。バザー品の売り上げで、畑の肥料や野菜を購入し収穫体験をしています。

イ) 保護者参加の親子教室 6回

4月15日 (保護者総会)

9月14日 (運動会)

10月12日 (遠足 リンゴ狩り)

12月14日 (クリスマス会)

2月15日 (人形劇・ゆめ水族館体験)

3月15日 (ありがとうの会)

ウ) 祝日開催・土曜開催 5回

7月15日 8月12日 11月4日 2月11日 3月20日

エ) 季節ごとの行事

4月	イースター ボーリング	10月	料理 ハロウィン
5月	料理 しゃぼん玉	11月	散歩 制作
6月	マッサージ 運動	12月	うどん作り 運動
7月	かき氷 収穫体験	1月	書初め 買い物ゲーム
8月	料理 手浴足浴	2月	節分 バレンタイン
9月	制作 運動	3月	カラオケ ホワイトデー

オ) イオンイエローレシート活動より

52600円 文房具 誕生日プレゼント購入

9. 苦情解決の状況 1 件

利用者の使っている、おかけが汚れたまま持ち帰ってくる、との苦情がありました。おかけをいつもして、よだれ受けと食事の時に使用して使っていました。使ったおかけをきれいに洗わずに持ち帰ってくるの事でしたが、使用したおかけは水洗いをしてビニール袋に入れて渡して使っていました。食事内容によっては、おかけに食材や色が付いてしまう事もあると伝え謝罪しました。又汚れても良いおかけを持たせて頂ける様に伝えました。その苦情後、おかけを汚さない様に昼食の時に気を付けて使用しています。

10. 事故並びヒヤリハットの状況

事故	ヒヤリハット	合計
3 件	0 件	3 件

・ベッド柵の忘れにより、利用者がベッドより転落してしまった。
車いすからベッドに移乗して、ベッド柵をしないでベッドから離れてしまった。転落の音で気が付き、状況の把握、バイタルチェック、ひまわり学園のスタッフを呼ぶ、たまたま消化訓練で消防士が来ていたので消防士を呼び、救急車に連絡、保護者に連絡しました。

状態として、意識は有り、口腔内と唇からの出血、右肩に大きく内出血、頭部も打っている様子あり。救急車で太田記念病院へ行き、レントゲンCT
等検査を受け、骨折なしで24時間様子を見る事になった。
すぐに保護者に謝罪。次の日も自宅へ行き園長と主任で謝罪しました。
対策は、ベッドに移乗した時はベッド柵を忘れない様に付ける、ベッドから離れる時はベッド柵がしてあるかの確認をする。他のスタッフも周り全体に目を向けて観察し気配りを行う事です。

・気持ちの変動で人工鼻を引っ張ってしまう事が良くあります。今回は気持ちが荒れていた様には思えませんでした。気が付いた時にはカニューレが抜けていました。上を向いたり人工鼻を強く引っ張ると人工鼻と共に抜けてしまう事が有ります。看護師が挿入し、保護者に連絡謝罪しました。
対策としては、抜けてしまったカニューレに早く気が付く事なので、利用者の観察を注意深くする事です。

・帰りの送迎の時に右ひざに、少しすり傷を発見しました。送迎時に保護者へ謝罪しました。どこで出来てしまったのかは不明ですが、考えられるのはベッド柵と思われ、ベッド柵には布で柵を覆う対応をしました。

1 1. 医療的ケアの実施状況

経鼻注入	胃瘻・腸瘻	気管切開	吸引	酸素管理	投薬
3 名	4 名	3 名	8 名	0 名	6 名

令和 6 年度の医療的ケアが必要な利用者は 6 名です。(与薬含まず)

医療的ケアは医師の指示書を年度初めと医療的ケアが変わるごとに提出して頂き、マニュアルに記入し全員が理解し同じ事が出来る様にしています。又薬はお薬手帳（処方箋・お薬の内容）を提出して頂いて、どの様な薬を飲んでいるのか把握しています。体調の変化に気づく様に観察し、親または Dr に報告する様にしています。

※太田記念病院 堀 Dr 定期来園 4 回 時間 13 時～15 時
6 月 4 日 9 月 12 日 12 月 3 日 3 月 4 日

利用者全員の 3 か月間の状態（栄養・薬・体重・生活の様子）の報告とスタッフ・家族からの質問・相談等又最近の流行の病気について、利用者の疾患等の知識を教えています。

1 2. 入退院

	病院名	病名	日数	入院回数
A さん	太田記念病院	風邪	16 日	3 回
		発作	19 日	3 回
		肺炎	2 日	1 回
		RS・ヒトメタニューモ	19 日	1 回
		誤嚥と発作	9 日	1 回
	自治医大病院	発作 筋緊張	21 日	1 回
B さん	小児医療病院	胃ろう造設	7 日	1 回
	イムス病院	誤嚥性肺炎		
C さん	太田記念病院	肺炎	13 日	1 回
D さん	太田記念病院	肺炎	10 日	1 回
		腸閉塞	15 日	3 回
	小児医療病院	腸閉塞	62 日	3 回
		いつもと様子が違う	3 日	1 回
E さん	太田記念病院	舌より出血・肺炎	32 日	1 回
F さん	桐生厚生病院	コロナ	9 日	1 回
G さん	太田記念病院	肺炎 (死亡)	2 日	1 回

A さん：現在 5 歳ですが、発作薬の調節に時間がかかっています。筋緊張もあります。1 年を通して発作以外でも入院が多く保護者の付き添いも大変な様子です。現在自治医大に入院中で筋緊張の薬の調節をしています。入院中に水頭症になった事がわかりました。

B さん：ずっと体調良く過ごしていたが、コロナにかかってしまい、今後の事も考え胃ろう造設をしました。口から食べられなくても胃ろうより注入出来る様になりました。現在イムスに誤嚥性肺炎で入院中です。

C さん：令和 6 年に肺炎で入院がありました。令和 7 年 1 月に心停止の為お亡くなりになりました。

D さん：以前腸閉塞で手術しました。そのため癒着しやすく腸閉塞になりやすくなっています。次に腸閉塞になったら腸を短くする手術をするそうです。自分では体を動かす事が出来ません。職員がお腹をさする事やエアーマットを使つての体位交換をしています。

E さん：舌を自分の歯で数か所噛んでしまい多量の出血で太田記念病院に入院しました。入院している時に熱の出ない肺炎になり、肺に痰が沢山たまってしまい入院が長引きました。

F さん：コロナになり桐生厚生病院に入院し、入院中に経鼻注入になりました、入院は 9 日間でしたが、経鼻注入を中止し食べる練習をする為にお休みが長引きました。

G さん：痰が多く痰が詰まってしまい救急車で太田記念病院に行きましたが亡くなってしまいました。診断は肺炎です。

H さん：(表には非掲載) 家族と外出中に発作を起こし近隣の病院へ行くが亡くなってしまいました。

13. 職員研修

園内研修

- ・ 歯科医山川 Dr による摂食指導 6 月 1 日
具体的な食事の様子と共に、利用者一人一人摂食指導を受けました。その都度困った時や疑問に思った時は利用者を DVD に映し相談させて頂いています。
- ・ 太田記念病院 堀 Dr による園内勉強会 6 月 25 日
「大人と子供の胃ろうについて」「打撲、すり傷、やけどについて」「感染症の始めについて」「遺伝、染色体異常について」等の勉強会をしました。

外部研修

障害児（者）歯科疾患予防研修（スタッフ全員）

14. 理学療法の実施状況

月2回（ひまわり理学療法士1名） 13時～14時30分

月2回（外部理学療法士1名） 10時～12時

利用者の体の曲げ伸ばしやストレッチをして頂いています。スタッフや家族からの質問に答えて頂き、車いす・身体に合ったクッションを作る時の相談や窓口にもなっております。

15. 音楽療法の実施状況

月2回 10時30分～11時30分

ドレミ（株）による、音楽療法プログラムに沿って、運動機能の向上や感覚刺激、楽器操作、歌等、多彩な内容により利用者の心と身体に働きかけ、音楽の楽しさと他者との交流により、見る事、聞く事、動く事を学んでいます。

16. その他

- ① ぽかぽかのスタッフが11月まで安定していない状態でした。現在は安定したスタッフ人数で対応しておりますが、令和7年1月に2人の利用者が亡くなった事と、入院数も増えて1日の利用人数が少ない毎日となっています。利用者人数を増やす事が課題となります。
- ② 保護者参加の親子教室ですが、参加人数が減少してきています。親の高齢化や親子での参加、土曜日開催、内容に問題がある等考えられますので、保護者総会の時に、ご意見を聞かせて頂こうと思っています。

令和 6 年度事業報告

事業所名 障害者支援施設 とうもうさわの寮 定員 57 名

1. 決算の状況

とうもうさわの寮（施設入所支援事業、生活介護事業）

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計	備 考
271,659,752	267,901,520	3,758,232	

拠点区分間繰入金支出（本部へ） 705,000 円

日中一時支援事業（太田市・大泉町・板倉町・みどり市）

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計	備 考
75,395	75,395	0	

2. 主な修繕の実施状況

内 容	期 日	金 額
1F男性トイレ用便器取替工事	7月31日	179,000
受水槽給水取替、ポンプ槽取替	12月31日	264,000
2F居室壁クロス張替工事	1月31日	84,000
1F居室引き戸取替工事	2月28日	77,000
消防用設備点検に伴う修繕	3月31日	720,500

3. 固定資産物品等の取得状況

固定資産（器具及び備品等）	取得年月日	金 額
なし		

4. 職員の状況（令和7年3月31日現在）

職 種 別	基準人員	現 員	常勤換算	備 考
管 理 者（施設長）	1	1	1	サービス管理責任者兼務 管理栄養士 業務委託 嘱託医（定期検診・服薬に関する相談） 正看護師
主 任		1	1	
生 活 支 援 員	22.3	24	23.2	
事 務 員 栄 養 士 厨 房	1	2	2	
医 師		(1)	0.1	
看 護 師	1	1	1	正看護師
その他 補助員		1	0.7	
地域支援		1	1	太田市障がい者相談支援センター (相談支援専門員)
計		31 (1)	29.9	

5. 施設入所利用者の状況

区分	定員	在籍者数	利用者入退所状況	
			退所者	入所者
令和6年 4月	57	54	0	0
5	//	53	1	0
6	//	54	0	1
7	//	53	2	1
8	//	//	0	0
9	//	54	0	1
10	//	//	0	0
11	//	53	1	0
12	//	52	1	0
令和7年 1月	//	53	0	1
2	//	//	0	0
3	//	53	1	1
計	684名	639名	6名	5名

令和7年3月31日現在の障害支援区分別在籍者数

区分4… 10名 区分5… 22名 区分6… 21名

計53名

障害支援区分平均5.20

6. 生活介護事業利用者の状況

区分	定員	在籍者	退所者	入所者
令和 6 年 4 月	60	55	0	0
5	//	54	1	0
6	//	55	0	1
7	//	54	2	1
8	//	//	0	0
9	//	55	0	1
10	//	//	0	0
11	//	54	1	0
12	//	53	1	0
令和 7 年 1 月	//	54	0	1
2	//	//	0	0
3	//	54	1	1
計	7 2 0 名	6 5 1 名	6 名	5 名

障害支援区分別在籍者数(3月末)

生活介護(通所者+入所者の日中活動支援)

区分 4…11名

5…22名

6…21名

計54名

7. 短期入所利用状況（延べ利用日数）

市町村名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
太田市	15	24	28		2	4	7	2	9	4	8	10	113
大泉町	2	6	6	6	6	6	6	6	6	2	2	6	60
板倉町					4								4
計	17	30	34	6	12	10	13	8	15	6	10	16	177

8. 日中一時支援事業は、太田市・大泉町・板倉町と事業契約。

市町村名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	計
太田市	1	3	1					2	1			3	11
板倉町		1	3	1	2								7
大泉町													
みどり市												2	2
計	1	4	4	1	2			2	1			5	20

9. 施設運営

I. 施設入所定員 57名 現員 53名（令和7年3月31日現在）

退所者	令和6年度の退所者6名
女性（61歳）	令和6年5月11日、堀江病院にて死亡。 （播種性血管内凝固）
女性（57歳）	令和6年7月4日、本島総合病院療養病棟へ移行し退所。 （退所後、8月3日死亡）
男性（63歳）	令和6年7月27日、施設内にて循環器系疾患にて死亡。
男性（50歳）	令和6年11月16日 堀江病院にて死亡。（急性肺炎）
男性（51歳）	令和6年12月4日 堀江病院にて死亡。 （てんかん重積発作）
男性（75歳）	令和7年3月1日 本島総合病院にて死亡。（敗血症）
入所者	令和6年度の入所者5名
男性（34歳）	令和6年6月 1日 待機順により入所。（かなやま学園から）
女性（54歳）	令和6年7月 1日 待機順により入所。（かなやま学園から）
男性（43歳）	令和6年9月 1日 待機順により入所。（板倉町 在宅から）
男性（52歳）	令和7年1月16日 待機順により入所。（かなやま学園から）
男性（54歳）	令和7年3月 1日 待機順により入所。（かなやま学園から）

II. 職員体制

・女性支援員不足のため、中途・新卒者の採用活動は継続して実施。人材派遣、紹介会社を利用。求人サイトや人材バンクの利用・福祉系大学・専門学校に直接求人申し込みをしている。また、新卒採用はマイナビと契約し、重点を置く。

・令和6年度は6月に育休明け職員1名復帰。9月に女性支援員2名中途採用。

11月からは相談支援専門員として1名（女性）が、相談支援事業所と兼務。

（令和7年4月からは新卒採用1名（女性）と人事異動2名（男性、女性）を加え、6月からは育休明け職員が復帰予定。）

・12月から洗濯清掃業務1名を障害者雇用。

・日中対応の生活支援員（女性）が令和6年8月、自己都合により退職。

・令和6年6月に男性支援員1名がパパ育休取得。

（令和7年度も2名がパパ育休を取得予定）

・人員配置について（平均支援区分5以上なので3：1）

施設入所支援（定員57名）の基準が19名のところ、23名を配置している

・生活介護（定員60名）の職員配置基準が20名

基準以上の人員配置をしており、今後も維持していく。（日勤専門が現在2名）

Ⅲ. 施設整備

- ・（ICT活用）手書きの記録であったものを、PCや携帯電話・タブレット端末のデータ入力対応の記録システムを導入し、令和5年度から引き続き業務の効率化を図る。
- ・新たに入所する利用者受け入れ環境整備のため、居室の壁や戸等の整備を行う。
- ・消防点検不良箇所があり、太田市消防へ改修計画書を提出。令和6年度内に順次改修。

Ⅳ. 苦情解決について

- ・特に文書による回答及び公表・掲示を求められる事案はなかった。

Ⅴ. 利用者処遇

- ・基本的な感染対策を実施しながら、施設内での行事（楽しみ）を増やしている。令和5年度から新たに実施したキッチンカーの利用や音楽療法是好評につき、継続。この他、デリバリーを利用して飲食（外食）する機会を設ける。今後は施設外への外出も再開予定。
- ・コロナや高齢化の影響もあり運動不足解消や機能維持のため、ウォーキング等の身体を動かす活動を増やしている。

主な行事（実施した寮内イベント）			
5月	さわの湯（足湯）	7月	七夕まつり
8月	夏祭り・花火	10月	ハロウィン
11月	映画イベント	12月	クリスマス会
2月	節分		

日中活動内容 作業活動 創作活動	・袋詰め作業・ボールペンの組み立ては機能維持の作業として継続。レク活動・ドライブ等の施設外活動 ・寮内活動として、体操・ウォーキング・ミュージックケア・ビデオ鑑賞等。 ・音楽療法（月1回）
クラブ活動	・ワングル・カラオケ・軽スポーツ・音楽・カラオケ・創作
外出支援 （外食・買い物等）	・施設外への外出は自粛。個別に必要な買い物は職員が行う。テイクアウト等を利用した外食の機会を増やす。
理美容	・みやの理容所、移動美容室「彩」が出張実施。月一回のペースで実施。
健康管理	・栄養マネジメントは管理栄養士、看護師、サービス管理責任者、施設長で実施。 ・体重、血圧、血液検査、X線検査、通院による検査実施。 ・柔道整復師（鍼灸師）によるマッサージを高齢者や運動機能が低下している利用者中心に平均月2回4～6名程度に実施。（実費負担） ・訪問歯科実施。（平均月2回）

1 0. 損害保険加入状況（あいおいニッセイ同和損保 代理店（有）おかべ保険センター）

介護保険・社会福祉事業総合保険施設・自動車保険(法人内フリート契約)
火災保険（地震保険含む） 事業活動総合保険

※令和7年2月、強風により施設屋根を覆う金属合板がはがれ、修繕。（保険適用）

1 1. 危機管理

・ヒヤリハット、事故報告等の記録整備を実施、予防対策を立てるためリスクマネジメント委員会を継続、職員一人一人がリスクについての周知、意識はされてきている。別表の通り事故件数は減少しているが、事故防止に更なる努力を要する。

1 2. 事故・インシデントの内容と件数（※別表参照）

※事故とインシデントの傾向と防止策について

①加害行為と転倒事故について

男性の事故件数が減少した要因は、特定の男性利用者が退所したこと、ケース会議等で支援方法を検討し対応したことが大きい。女性利用者の転倒事故減少については、高齢等による転倒リスクの高い利用者が退所したことの影響が大きい。その反面、新たな入所者による加害行為が数字に現れている。防止策は個々の支援方法や対応についてケース会議等で検討・確認し対応力の向上に努めている。

②投薬事故に関して

飲み忘れが（テーブルに置いたまま・床に落ちて）多くを占めている。服薬介助の際には支援員同士で声を出して確認し合うよう決め、薬を置く場所も決めているが、増加している。再検討、確認を要する課題である。

⑤原因不明の事故について

利用者の他害・転倒に関わる事故が大半を占める。職員が見ていないところでの他害行為、転倒。原因を分析し、利用者一人一人の生活パターンの流れや、状態を把握していく必要がある。二次分析し、会議で確認・検討した結果、昨年度よりも減少。

⑥インシデントについて

事故報告数に比べてインシデント報告数が圧倒的に少なかったことが今までの傾向と課題であったが、リスク委員会の取り組みにより改善されつつある。令和6年度は女性支援員不足が、インシデント数に影響を及ぼしている。

1 3. 研修

主に以下の研修を実施

- ・強度行動障害研修
- ・感染症、リスクマネジメント内部研修または勉強会
- ・虐待防止、感染症についての外部研修

1 4. 感染対策の実施

- ・新型コロナウイルス 5 類へ移行後も基本的な感染対策実施。
感染マニュアル、BCPの整備。
- ・地域の感染状況を見ながら、面会や帰省を再開する。
- ・インフルエンザワクチン接種の実施。（11月）
- ・感染対策委員会の設置とBCPに基づく訓練や感染対策研修の実施。

※令和 7 年 2 月にインフルエンザが蔓延し、利用者のほぼ全員が感染する。
約 1 週間で終息。

1 4. 災害時の準備

- ・備蓄飲料水の点検（消費期限等）を実施。
- ・BCPに基づく消火訓練や避難訓練の実施。
- ・給食委託業者が施設内に 3 日分 4 9 5 食分は確保。
- ・緊急時のマニュアルを作成、利用者状況についても、毎月開催の保健給食会議に参加し、情報共有をしている。

1 5. 防犯対策

- ・防犯委員会による防犯マニュアルの作成と見直し。
- ・防犯訓練の実施。
- ・防犯システムセコムとの連携による、防犯カメラ等の日常警備継続。

※令和 7 年 2 月、施設門扉前にて不審者によるゴミの不法投棄が続けてあり、市と警察に相談。防犯カメラの映像等を提出し、後日に廃棄者を特定。（警察が対応）

1 6. 車両の保有状況

車種	台数	備考
マイクロバス	1	トヨタコースター
ワゴン車	1	ハイエース
貨物車	1	ハイゼット（軽バン）
軽乗用車	7	タント・AZワゴン(ｽｰﾌﾟ 車 2 台) ムーブ（事務用）・タント ミライース（相談支援センター） ミニカ・①スペースア（相談支援）

①スペースア・・・令和 6 年 5 月にリース契約。ねこのてやと相談支援事業所で使用。

令和6年度事業報告

事業所名 障害者相談支援事業 太田松翠会相談支援事業所

1. 決算の状況

太田松翠会相談支援事業所

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計	備 考
7,409,836	7,269,237	140,599	

令和6年度 計画相談及びモニタリングの件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	9	7	26	24	26	31	28	10	31	34	43	41	310
モニタリング	30	32	13	15	13	8	11	18	8	18	11	12	181
合計	39	39	39	39	39	39	39	28	39	52	54	53	491

2. 職員体制（令和7年3月31日現在）

管理者 1名（とうもうさわの寮 施設長兼務）

相談支援専門員 1名（常勤）

相談支援専門員 1名（とうもうさわの寮支援員兼務）

3. 運営等実施状況

・太田松翠会相談支援事業所は、利用者・保護者から話を聞き、サービス利用について適切な助言や計画を作成し、各事業所に対しては計画が実行されているか、変更が必要かどうかを利用者・保護者を交えて検討し、より充実した支援サービスにするためのサポートをいたします。

この事業は福祉サービス利用に関しての計画相談を主に、障がい者の生活全般の相談を受け、適切なアドバイスをする事、特に専門的な知識を要する問題については、専門機関や専門家につなげることを目指し、保護者・ご本人と共に問題解決に向けて支援しています。

・地域移行・地域定着に関しては依頼がなく、実績なし。

・令和5年度途中での退職者の影響から、相談員1名で行える範囲で運営実施している状況であった。相談支援サービス低下の防止と相談員1名への負担軽減のために、令和6年8月から1名とうもうさわの寮支援員と兼務し資格取得し、令和6年12月から相談員として配置する。

令和6年度 事業報告書

事業所名	地域生活援助センターかなやま青年寮	種別	共同生活援助	定員	41名
事業所名	地域生活援助センターはあふ	種別	共同生活援助	定員	44名

1. 決算の状況

サービス区分名	総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額	事業活動資金収支差額
かなやま青年寮	135,300,470 円	133,064,031 円	2,236,439 円	2,534,865 円
はあふ	113,289,048 円	110,732,791 円	2,556,257 円	5,796,977 円
福祉有償運送	639,480 円	639,480 円	0 円	0 円
合計	249,235,786 円	247,168,705 円	4,792,696 円	8,331,842 円

当期末支払資金残高 66,543,077 円

総収入済額のうち

(かなやま青年寮)

設備資金借入金元金償還補助金収入	1,176,000 円
サービス区分間繰入金収入	2,945,000 円
退職給付引当資産取崩収入	3,998 円
人件費積立資産取崩収入	2,963,000 円

(はあふ)

サービス区分間繰入金収入	1,445,000 円
--------------	-------------

総支出額のうち

(かなやま青年寮)

設備資金借入金元金償還支出	2,352,000 円
退職給付引当資産支出	117,984 円
人件費積立資産支出	720,000 円
修繕費積立資産支出	50,000 円
備品等購入積立資産支出	300,000 円
施設・設備整備積立資産支出	630,000 円
拠点区分間繰入金支出(本部へ)	705,000 円
サービス区分間繰入金費用	1,445,000 円

(はあふ)

人件費積立資産支出	650,000 円
修繕費積立資産支出	500,000 円
備品等購入積立資産支出	300,000 円
施設・設備整備積立資産支出	200,000 円
サービス区分間繰入金費用	2,945,000 円

2. 主な修繕の実施状況

利用者居室床・男女用風呂、トイレ等（わが家）	127,390円
アンテナ工事（細谷ホーム・わが家）	206,800円
網戸取付工事等（もみじ）	115,500円
はしご撤去・畳替え・点検口取付等（すずらんホーム）	483,200円
火災通報装置撤去（すずらんホーム）	18,700円
トイレ引戸レール・居室クロス貼り等（ふじあぐホーム）	83,600円
電機専用回路工事（ふじあぐホーム）	119,680円
台所排水洗浄・トイレ修理・コンセント等（新島ハイツ）	54,280円
水漏れ・浴室ドア天井等修理（ゆらハイツ）	91,800円
福祉の森請求制度改正対応費用（事務）	115,500円
エアコンクリーニング（事務・各宿直室）	144,000円

3. 固定資産物品等の購入状況

中古車両（マツダデミオ）	401,500円
中古車両（トヨタヴォクシー）	437,800円
床置きエアコン（青年寮食堂）	413,600円

4. 車両の保有状況

普通乗用車5台、軽自動車7台、貨物車1台

※普通乗用車2台、軽自動車1台を廃車

5. 損害保険加入状況

自動車保険：東京海上日動火災保険株式会社（アルファード保険サポート）

火災保険：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（おかべ保険センター）

施設賠償責任保険：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（おかべ保険センター）

借家人賠償保険：三井住友海上保険（A S J 総合サービス）

6. 職員状況

地域生活援助センターかなやま青年寮

職種	配置基準	現員数	常勤換算	備考
サービス管理責任者	30:1	2	1.5	
生活支援員	6.0	10	6.6	常勤換算は夜間支援員含む
世話人	7.0	27	10.7	常勤換算は夜間支援員含む
夜間支援員		18		世話人兼務 7カ所のホームに配置
看護師		2		生活支援員と兼務 はあふと兼務
事務員		1		生活支援員・世話人と兼務

地域生活援助センターはあふ

職種	配置基準	現員数	常勤換算	備考
サービス管理責任者	30 : 1	2	1.5	世話人と兼務 常勤換算は生活支援員・夜間支援員含む 世話人と兼務 2ヵ所のホームに配置
生活支援員	3.0	8	3.5	
世話人	7.1	25	9.5	
夜間支援員		5		
看護師		2		
事務員		1		世話人と兼務

7. 利用者の状況

地域生活援助センターかなやま青年寮

定員41名

月	利用者数	新規利用者数	退所者数	延べ利用者数
4月	39.3			1180
5月	37.7		1	1170
6月	37.7			1132
7月	36.9			1146
8月	36.3			1126
9月	38.2	1	2	1148
10月	39.0			1209
11月	39.4			1182
12月	38.4	1		1191
1月	37.8			1172
2月	38.8			1088
3月	38.8			1205
計	38.2	2	3	13949

新規利用者内訳

1	家庭より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1名
2	他法人グループホームより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1名

退所者内訳

1	入院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1名
2	高齢者施設へ移行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2名

地域生活援助センターはあふ

定員44名

月	利用者数	新規利用者数	退所者数	延べ利用者数
4月	43.9	1		1318
5月	43.0			1334
6月	42.7			1281

7月	43.7			1356
8月	42.9			1332
9月	43.4			1304
10月	42.8			1328
11月	42.9			1287
12月	42.2			1311
1月	42.6			1321
2月	43.8			1229
3月	44.0			1364
計	43.1	1	0	15765

新規利用者内訳

1	かなやま青年寮より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1名
---	----------------------------------

退所者内訳

1	なし
---	----

8. 施設運営等実施状況

施設運営	1. 就労支援 ・職場開拓と職場定着支援 ・就労不安定者の通勤付き添い支援 ・通勤手段のない方の送迎支援 2. 職員研修・会議 ・3カ月に1回のかなやま青年寮・はあぶ全職員による職員会議 ・月2回のかなやま青年寮・はあぶに分かれての個別支援会議 ・各ホーム4ヶ月に1回程度の世話人等会議 ・月1回の管理者・副管理者・主任等による運営会議 ・各個別支援会議内にて職員持ちまわりによる勉強会を開催 ・毎日の標語読み上げ ・3カ月に1回程度の感染対策委員会及び研修会 ・年2回の災害・感染時の業務継続計画（BCP）の研修及び訓練 ・4月18日、世話人等辞令交付式・研修会を実施 「虐待防止及び身体拘束適正化勉強会」 生活支援員を対象として、虐待防止及び身体拘束適正化委員が中心となり研修会を実施。 ・外部研修会への参加 全国知的障害者福祉協会 全国施設長会議
------	---

全国知的障害者福祉協会 関東ブロック大会
 全国地域生活定着支援センター協議会 関東・甲信越ブロック大会
 群馬県知的障害者福祉協会 GH分科会（リモート参加）
 群馬県社会福祉協議会 会計研修会
 群馬県 人権倫理委員会研修会
 群馬県 障害者虐待防止・権利擁護研修
 群馬県 サービス管理責任者研修（更新・基礎・実践等）
 群馬県 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程
 群馬県 安全運転管理者講習
 太田市 地域生活支援部会
 太田市 発達障害研修
 福祉有償運送運転者講習
 強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践
 群馬県地域生活定着支援研修会
 せぼね・股関節・ひざの健康講座

3. 防災・防犯体制について

- ・火災を想定した避難・通報・消火訓練 2 回 （各ホーム）
- ・水害を想定した訓練（うしざわホーム・かめおかホーム・みなみホーム）
- ・防犯カメラ 15 台（11 ホーム）

4. 苦情解決の状況

（青年寮）

- ・説明・情報提供について 1 件
- ・支援・療育の方法について 1 件

（はあふ）

- ・職員の接遇について 3 件
- ・その他 1 件

5. 事故等の報告

（青年寮）

インシデント 4 件

- ・連絡・確認ミス 3 件
- ・忘れ物 1 件

事故 8 件

- ・交通事故 1 件
- ・投薬ミス 3 件
- ・破損 1 件
- ・連絡・確認ミス 1 件
- ・無断外出 1 件
- ・転倒 1 件

（はあふ）

インシデント 2 件

- ・投薬ミス 2 件

	事故 15件 ・投薬ミス 6件 ・連絡ミス 1件 ・交通事故 4件 ・火傷 1件 ・破損 1件 ・その他 2件 6. 健康管理 ・健康診断：6月（はあぷ利用者・職員対象） 12月（青年寮職員対象） ※夜間支援員は年二回の検診 1月（青年寮利用者対象） ・健康診断は診察日時、順番を管理し、密にならないよう注意し行いました。 ・10月～11月、インフルエンザの予防接種を行いました。 ※新型コロナウイルス利用者感染状況 かなやま青年寮 <table border="1"> <tr><td>8月</td><td>1人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>6人</td></tr> <tr><td>12月</td><td>2人</td></tr> <tr><td>3月</td><td>1人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>10人</td></tr> </table> はあぷ <table border="1"> <tr><td>7月</td><td>5人</td></tr> <tr><td>1月</td><td>1人</td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td></tr> <tr><td>合計</td><td>6人</td></tr> </table> 7. 寄付の状況 現金の寄付2件 合計100,000円 車両寄付1件 20,000円相当	8月	1人	10月	6人	12月	2人	3月	1人	合計	10人	7月	5人	1月	1人					合計	6人
8月	1人																				
10月	6人																				
12月	2人																				
3月	1人																				
合計	10人																				
7月	5人																				
1月	1人																				
合計	6人																				
利用者行事	1. 地域との交流行事等 10月 太田市スポレク祭 ゴミ収集などのボランティアに参加 スバルマラソンに3名が参加 12月 連合群馬・労福協 ボウリング大会に26名が参加 3月 東京福祉大学 療育講座に利用者2名が参加 2. 施設行事 大人数で集まる行事は中止し、少人数による活動を少しずつ提供。 ・屋外でのジョギングサークルに3名の利用者が参加。 ・ホーム単位や小グループによる外食や外出、一泊旅行などを提供。 ・イオンにて映画鑑賞と買い物 ・日帰り旅行（川場村） ・一泊旅行（横浜） ・一泊旅行（水上） など																				

事業運営の状況（令和6年度）

事業所名 生活支援センターねこのてや

1. 決算の状況

サービス区分名	総収入済額	総支出済額	当期資金収支 差額合計	備考
生活支援センター ねこのてや	13,741,931 円	13,474,837 円	267,094 円	

※総支出済額のうち

人件費積立資産支出	1,600,000 円
修繕費積立資産支出	300,000 円
施設・設備整備積立資産支出	90,981 円

サービス区分名	事業活動収入	事業活動支出	事業活動収支 差額	備考
生活支援センター ねこのてや	13,741,931 円	11,297,200 円	2,444,731 円	

2. 主な修繕の実施状況

特になし

3. 固定資産物品等の購入状況

令和7年1月31日取得 パロマ給湯器一式 金額 176,000 円

4. 車両の保有状況

軽自動車 1 台（リース）

5. 損害保険の加入状況

自動車保険

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(有)おかべ保険センター

火災保険

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(有)おかべ保険センター

施設賠償責任保険

介護保険・社会福祉事業者総合保険

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(有)おかべ保険センター

6. 職員の状況

職種	人員基準数	現員数	備考
センター長	1 名	1 名	

7. 利用者の状況

営業日数…24 時間・365 日・年中無休
市町村別利用状況、利用人数は別紙に記載

8. 施設運営等実施状況

①施設運営

・運営状況について

日中一時支援事業(サービスステーション事業)を8市町村(太田市・大泉町・邑楽町・明和町・板倉町・伊勢崎市・みどり市・桐生市)と委託契約を結んでサポートを行いました。

土日などの休日に家で過ごすことが大変、保護者のレスパイトが必要、シングルマザーのご家庭などの理由で必要としていただける声は多く、地域の最後の受け皿として可能な限りニーズに答えてきました。また今年度もセンター長1名を軸に非常勤職員(アルバイトスタッフ)メインの人員配置でしたが、トラブルもなく昨年度の利用時間数を大幅に更新いたしました。今後も安定した経営を行っていきたいと思っております。

福祉有償運送サービスは、ステーション事業を利用するために送迎が必要な利用者さんのために便宜上引き続き行っていますが、正職員スタッフが1名という理由で、引き続き緊急時のみの対応とさせていただきました。結果、ご利用はございませんでした。

移動支援事業の利用も0件でした。

・苦情解決の状況 特になし

・事故報告(ヒヤリハットを含む) 事故 1 件(転倒)

②利用者支援

就学前の幼児や発達障害の方など多様なニーズに対し十分に応えられるようサポート前のスタッフ間での情報交換・確認を徹底し、利用者本人・保護者のニーズをその都度聞き取り、応えられるようサポートに当たっています。